

2025年2月18日

ローム株式会社

日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画第7, 8弾は九州にて開催！

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.7, 8

九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 熊本&宮崎

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、財団設立30周年を記念して始めた全国でオーケストラのコンサートを開催する「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」(以下、「本プロジェクト」)のVol.7を2025年5月5日(月・祝)に熊本にて、Vol.8を翌日の2025年5月6日(火・祝)に宮崎にて開催いたします。

本プロジェクトは、これまで京都、福岡、仙台、倉敷、浜松、名古屋と日本各地で開催しております。オーケストラの素晴らしい演奏と共に、ローム ミュージック ファンデーションが過去に音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」によるソロなどを多くのお客様にお楽しみいただきました。

今回の公演も岩代太郎作曲の設立30周年記念作品「東風慈音ノ章」で幕を開けます。続いて、ローム ミュージック フレンズであり、ミュンヘン国際音楽コンクール優勝のヴァイオリニスト・岡本誠司をソリストに迎え、ブラームスの協奏曲を披露します。プログラムのメインには、ラヴェルが作曲した名曲「亡き王女のためのパヴァーヌ」「ダフニスとクロエ」、さらに誰もが一度は耳にしたことのある「ボレロ」の3曲を、数々のオーケストラと共演を重ねる飯森範親の指揮でお届けします。演奏前には、司会の朝岡聡が楽しく楽曲を解説するプログラムもご用意しております。

ローム ミュージック ファンデーションの30年以上にわたる音楽文化支援活動で得た絆が生み出す豪華プログラムをお楽しみください。

■公演概要



<Vol.7> 名称 : 九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 熊本
日程 : 2025年5月5日(月・祝) 15:00開演(14:00開場)
会場 : 市民会館シアーズホーム夢ホール 大ホール(熊本市)
料金 : S席/4,000円、A席/3,000円

<Vol.8> 名称 : 九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 宮崎
日程 : 2025年5月6日(火・祝) 16:00開演(15:00開場)
会場 : 宮崎市民文化ホール 大ホール(宮崎市)
料金 : S席/4,000円、A席/3,000円、B席/2,000円

主催 : 公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション
協賛 : ラピスセミコンダクタ株式会社

■プログラム (Vol.7,8回共通)

<出演者> 指揮 : 飯森 範親
ソリスト : 岡本 誠司(ヴァイオリン/ローム ミュージック フレンズ)
管弦楽 : 九州交響楽団
司会 : 朝岡 聡

<曲目> 岩代 太郎 : 東風慈音ノ章 ~ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品~
J.ブラームス : ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op.77 (独奏:岡本 誠司)
M.ラヴェル : 亡き王女のためのパヴァーヌ、ダフニスとクロエ 第2組曲、ボレロ

■コンサートのポイント

・本プロジェクトのために委嘱した岩代 太郎作曲の作品を演奏。

世界初演動画(ダイジェスト)はこちら<<https://youtu.be/o9ZnHbDusbU?si=2KVdqVwU--xY711n>>

・ソリストの岡本 誠司(ローム ミュージック ファンデーション2015, 2016年度奨学生)はJ.S.バッハ国際コンクールにてアジア人として初優勝、ミュンヘン国際音楽コンクールではヴァイオリン部門12年ぶりの第1位など、勢いのある若手ヴァイオリニストのひとり。指揮者は、本プロジェクト浜松公演(Vol.5)に出演し、好評を博した飯森 範親。

・クラシック愛好家だけではなく幅広い方々にお楽しみいただけるよう、司会の朝岡 聡による楽曲の解説もご用意。

<有料オンライン配信について>

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にて、1か月間の期間限定で宮崎公演のアーカイブ配信を実施いたします。豪華出演者による贅沢なプログラムを期間中何度でもお楽しみいただけます。

配信チケット料金 : 500円(宮崎公演の来場者のみ限定割引あり。詳細は添付のチラシをご参照ください。)

配信期間 : 2025年5月13日(火)15:00~2025年6月13日(金)23:59

配信サイト : クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」 <<https://curtaincall.media/>>

■ 30周年記念委嘱作品について

①タイトル

<日本語表記>

東風慈音ノ章(こちじおんのしょう) Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

<英語表記>

The Chapter of KOCHI-JION Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

②作曲者 コメント

以前から幾度となく、異国の地で「たった一人の日本人メイン・スタッフとして」映画や映像制作の現場に参画してまいりました。特にアジア圏内の制作現場では、歓迎の視線、そして嫌悪の視線が交差する現場も決して珍しくありません。そんな折、私は関係者の人々に、「慈愛」「敬愛」の念をもって誠意を尽くすことで、結果、多くの友人に恵まれてきました。「敬う」「慈しむ」という心情は、ほぼ誤解なく伝わるものだと自負しています。因みに「愛情」や「礼節」だけではダメなのです。それは、相手が求めているカタチでなければ、伝わらず、受け止めてもらえないことさえあります。夫婦間や恋人同士であっても、「愛情」や「礼節」の掛け違いから喧嘩になることもあるほどですから。改めて言うまでもなく「愛情」や「礼節」が争いや戦争のきっかけになってきたことは、誰もが歴史から学べるところでしょう。

世界の分断が日に日に増し、不穏な空気感が漂っている今、極東に位置する私たち日本が、明日に向かって何を成すべきか、そんな想いを敢えて「祝典曲」に込めたいと思いました。

「音楽」が成就する為には「平和」が必要です。

「音楽」は「心」にしか宿りません。

そんな様々な明日への想いを込めて、「東風慈音ノ章」と名づけさせて戴きます。

<プロフィール>作曲者:岩代 太郎



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

■ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT 特設WEBサイトについて

ローム ミュージック ファンデーションWEBサイト内に特設WEBサイトを設置し、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新しています。

過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。

(各公演情報内の「ダイジェスト動画はこちら」をクリックするとご覧いただけます。)

<<https://www.rmf.or.jp/jp/30th-project/>>

■ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(4,934名:2025年2月時点)として、ともに音楽を届ける仲間となつていただいています。

事業名	内容
奨学援助 (1991年度～)	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。 現在までに557名を支援。
音楽在外研究援助 (1993年度～2014年度)	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。 現在までに64名を支援。
音楽セミナー (1992年度～)	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。
ローム ミュージック セミナー (2019年度～)	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー 2019年度からは宮田 大・チェロクラスを実施し、現在までに13名が受講。
京都・国際音楽学生フェスティバル (1993年度～)	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。 現在までに国内外から2,646名が出演。
小澤征爾音楽塾 (2000年度～)	小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラやオーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。 現在までに1,583名が出演。
RMF&山田和樹 グローバル プロジェクト (2024年度～)	日本の音楽家が今よりも更に世界中で活躍する未来を作ることを目的に、グローバルに活動を展開する育成プロジェクト。 現在までに3名が参加。

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

以上

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.7

九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 熊本



ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品
岩代太郎／東風慈音ノ章

J.ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77

M.ラヴェル／亡き王女のためのパヴァーヌ
ダフニスとクロエ 第2組曲
ボレロ



飯森 範親(指揮)

岡本 誠司(ヴァイオリン)

朝岡 聡(司会)

2025.5/5 [月・祝] 15:00 開演(14:00 開場)

市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市民会館)大ホール

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町1番3号

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円

チケットお取り扱い

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:289-573]

ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:84853]

市民会館シアーズホーム夢ホール 096-355-5235

大谷楽器 096-355-2248

熊本県立劇場 096-363-2233

※車椅子席はコモド・アート・プロジェクトへお申し込みください。

お問い合わせ

コモド・アート・プロジェクト 096-288-4635 (平日10:00~18:00)
info@comodo-arts.com

特設サイトのご案内

「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」
特設サイトでは、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新しています。
過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。



主催：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 協賛：ラピスセミコンダクタ株式会社

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年~2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。設立30周年を記念し、この活動をより拡げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催しております。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。

九州交響楽団 The Kyushu Symphony Orchestra (管弦楽)



1953年創立。のち財団法人化を経て2013年から公益財団法人となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市「福岡」に本拠地を置く。「九響ビジョン」に掲げる活動理念のもと、アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任。「ペルリオーズ/幻想交響曲」、「ベートーヴェン/交響曲第9番」、「マーラー/交響曲第8番(千人の交響曲)」、「マーラー/交響曲第3番」、「マーラー/交響曲第2番(復活)」のCDをリリース。2024年に小泉は終身名誉音楽監督となり、首席指揮者に太田弦が就任。またミュージック・アドバイザーに篠崎史紀が就任。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。

飯森 範親 Norichika Iimori (指揮)



©山岸伸

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送交響楽団、ケルン放送交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、モスクワ放送交響楽団等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、専属指揮者、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2006年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2014年より日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任、世界でも例の少ないハイドンの交響曲全曲演奏&録音という一大プロジェクトを手掛ける(2025年3月退任)。また、オペラでも高い評価を得ており、2024年は新国立劇場「コジ・ファン・トゥッテ」、藤原歌劇団創立90周年記念公演「ピア・デ・トロメイ」を指揮し、好評を博した。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

朝岡 聡 Satoshi Asaoka (司会)



横浜市生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めており、クラシックの語り部としても幅広く活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのおすそを広げる司会者として注目と信頼を集めている。日本ロッシーニ協会副会長。公益財団法人 日本音楽教育文化振興会理事。東京藝術大学客員教授。

岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトBMI集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

岡本 誠司 Seiji Okamoto (ヴァイオリン)



©Yuji Ueno

ローム ミュージック フレンズ
<2015、2016年度奨学生>

2014年、第19回J.S.バッハ国際コンクールのヴァイオリン部門にてアジア人で初めて優勝。2021年9月にはARDミュンヘン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門にて、部門として3大会12年ぶりとなる第1位となったほか、委託新曲賞など複数の副賞を受賞するなど、受賞歴多数の実力派。バイエルン放送交響楽団、MDRライプツィヒ放送交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団等、国内外のオーケストラとも多数の共演を重ねている。また、反田恭平が立ち上げたJapan National Orchestraのコンサートマスターとしても精力的に活動している。現在は、ヨーロッパを中心にソロはもちろん室内楽アンサンブルなど幅広い演奏活動を行う傍ら、ベルリンで後進の指導も行う。2021年文化庁長官より、芸術各分野において国際的に活躍し、特に顕著な成果をあげたとして表彰される。第31回出光音楽賞を受賞。ヴァイオリンはNPO法人イエロー・エンジェルよりM.ゴフリヤー(1702年)の貸与を受け、株式会社日本ヴァイオリンより名器貸与特別助成を受けている。

宮崎公演オンライン配信のお知らせ

本公演の翌日2025年5月6日(火・祝)に同じ曲目でお送りする「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」宮崎公演の様子を、1か月間の期間限定でアーカイブ配信いたします。豪華出演者がお届けする贅沢なプログラムを期間中何度でもお楽しみいただけます。

配信期間: 2025年5月13日(火)~6月13日(金)

料金: 500円

配信サイト: クラシック専門ストリーミングサービス カーテンコール

<https://curtaincall.media/>

※視聴方法に関するお問い合わせはカーテンコール <https://curtaincall.media/contact> まで



ラピスセミコンダクタ株式会社



ラピスセミコンダクタ株式会社は、2008年に京都に本社を置く半導体・電子部品メーカー、ロームグループの一員となり、徹底したものづくりへのこだわりを持って、世界中のお客様に品質と信頼性に優れた半導体を提供しています。

宮城県と宮崎県にそれぞれ工場を有し、宮崎県清武町にある宮崎工場では1980年の設立以来、45年に渡り地域に根付き、IC(大規模集積回路)の生産活動を展開しています。また、2023年には宮崎県国富町に新たな工場を設立。SiCパワーデバイス半導体(高電圧に対応した効率の高い半導体)の生産に着手したことで地元からも高い注目を集めています。

ラピスセミコンダクタ株式会社は、ロームグループが掲げる企業目的の通り、良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、文化の進歩向上に貢献することでステークホルダーの皆様への期待に応え、安心して暮らせる社会の実現に取り組んでまいります。

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT (Vol.8)

九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 宮崎



ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品
岩代太郎／東風慈音ノ章

J.ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77

M.ラヴェル／亡き王女のためのパヴァーヌ
ダフニスとクロエ 第2組曲
ボレロ



飯森 範親(指揮)

岡本 誠司(ヴァイオリン)

朝岡 聡(司会)

2025. **5/6** [火・祝] **宮崎市民文化ホール 大ホール**

16:00 開演 (15:00 開場)

〒880-0930 宮崎県宮崎市花山手東3丁目25-3

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円 B席:2,000円

公演チケットお取り扱い

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:289-713]

ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:84869]

e+(イープラス) <https://eplus.jp>

宮崎市民文化ホール ※店頭のみ

宮崎山形屋 ※店頭のみ

宮交シティ ※店頭のみ

メディキット県民文化センター ※店頭のみ

GAKUON ユニティ・フェイス 0985-20-7111 (平日 12:00 ~ 17:00) / <https://gakuon.co.jp/>

公演内容に関するお問い合わせ

GAKUON ユニティ・フェイス 0985-20-7111 (平日 12:00 ~ 17:00)

オンライン配信のお知らせ

クラシック専門ストリーミングサービス カーテンコールにて、後日アーカイブ配信を実施します。
詳細は、裏面をご覧ください。

特設サイトのご案内

「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」
特設サイトでは、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新しています。
過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。



主催：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 協賛：ラピスセミコンダクタ株式会社

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

飯森 範親©山岸伸 岡本 誠司©Yuji Ueno

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年～2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。

設立30周年を記念し、この活動をより拡げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催しております。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業に関わり、

現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。

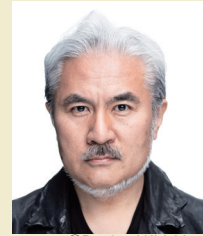
九州交響楽団 The Kyushu Symphony Orchestra (管弦楽)



1953年創立。のち財団法人化を経て2013年から公益財団法人となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市「福岡」に本拠地を置く。「九響ビジョン」に掲げる活動理念のもと、アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任。「ペルリオーズ/幻想交響曲」、「ベートーヴェン/交響曲第9番」、「マーラー/交響曲第8番『千人の交響曲』」「マーラー/交響曲第3番」「マーラー/交響曲第2番『復活』」のCDをリリース。2024年に小泉は終身名誉音楽監督となり、首席指揮者に太田弦が就任。またミュージック・アドバイザーに篠崎史紀が就任。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。

曲第8番『千人の交響曲』」「マーラー/交響曲第3番」「マーラー/交響曲第2番『復活』」のCDをリリース。2024年に小泉は終身名誉音楽監督となり、首席指揮者に太田弦が就任。またミュージック・アドバイザーに篠崎史紀が就任。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。

岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「輝くぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトプミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

飯森 範親 Norichika Iimori (指揮)



©山岸伸

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送交響楽団、ケルン放送交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、モスクワ放送交響楽団等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、専属指揮者、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2006年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2014年より日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任、世界でも例の少ないハイドンの交響曲全曲演奏&録音という一大プロジェクトを手掛ける(2025年3月退任)。また、オペラでも高い評価を得ており、2024年は新国立劇場「コジ・ファン・トゥッテ」、藤原歌劇団創立90周年記念公演「ピア・デ・トロメイ」を指揮し、好評を博した。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

岡本 誠司 Seiji Okamoto (ヴァイオリン)



©Yuji Ueno

ローム ミュージック フレンズ
<2015、2016年度奨学生>

2014年、第19回J.S.バッハ国際コンクールのヴァイオリン部門にてアジア人で初めて優勝。2021年9月にはARDミュンヘン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門にて、部門として3大会12年ぶりとなる第1位となったほか、委託新曲賞など複数の副賞を受賞するなど、受賞歴多数の実力派。バイエルン放送交響楽団、MDRライプツィヒ放送交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団等、国内外のオーケストラとも多数の共演を重ねている。また、反田恭平が立ち上げたJapan National Orchestraのコンサートマスターとしても積極的に活動している。現在は、ヨーロッパを中心にソロはもちろん室内楽アンサンブルなど幅広い演奏活動を行う傍ら、ベルリンで後進の指導も行う。2021年文化庁長官より、芸術各分野において国際的に活躍し、特に顕著な成果をあげたとして表彰される。第31回出光音楽賞を受賞。ヴァイオリンはNPO法人イエロー・エンジェルよりM.ゴフリラー(1702年)の貸与を受け、株式会社日本ヴァイオリンより名器貸与特別助成を受けている。

朝岡 聡 Satoshi Asaoka (司会)



横浜市生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めており、クラシックの語り部としても幅広く活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。日本ロッシーニ協会副会長。公益財団法人 日本音楽教育文化振興会理事。東京藝術大学客員教授。

オンライン配信のお知らせ

1か月間の期間限定で後日、本公演の様子を配信いたします。
豪華出演者による贅沢なプログラムを期間中何度でもお楽しみいただけます。
さらに、公演にご来場のお客様は、会場にて特別価格でご購入いただけます。
(※公演当日限り)

配信期間:2025年5月13日(火)～6月13日(金)
料金:一般価格/500円 来場者限定価格/400円
配信サイト:クラシック専門ストリーミングサービス カーテンコール
<https://curtaincall.media/>



※視聴方法に関するお問い合わせはカーテンコール <https://curtaincall.media/contact> まで

ラピスセミコンダクタ株式会社



ラピスセミコンダクタ株式会社は、2008年に京都に本社を置く半導体・電子部品メーカー、ロームグループの一員となり、徹底したものづくりへのこだわりを持って、世界中のお客様に品質と信頼性に優れた半導体を提供しています。

宮城県と宮崎県にそれぞれ工場を有し、宮崎県清武町にある宮崎工場では1980年の設立以来、45年に渡り地域に根付き、IC(大規模集積回路)の生産活動を展開しています。また、2023年には宮崎県国富町に新たな工場を設立。SiCパワーデバイス半導体(高電圧に対応した効率の高い半導体)の生産に着手したことで地元からも高い注目を集めています。

ラピスセミコンダクタ株式会社は、ロームグループが掲げる企業目的の通り、良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、文化の進歩向上に貢献することでステークホルダーの皆様の期待に応え、安心して暮らせる社会の実現に取り組んでまいります。